

魅力ある学校づくり訪問日記⑨（平成21年12月13日・日曜日）

【嬉野市教育の日】

嬉野市では、授業参観や学習発表会、PTA活動等を市内全小中学校において一斉に開催する「嬉野市教育の日」が毎年行われています。

今回は、「嬉野市教育の日」に訪問をして感じた嬉野小の「魅力」について、先生方の工夫点や子ども達の様子等、十分に伝え切れないところもありますが、私なりに整理して記してみたいと思います。

1 他教科等で生きてはたらく「話すこと・聞くことの力」

嬉野小学校では、国語科で身に付けた「話すこと・聞くことの力」を他の学びに「活用」することを大切にして実践されています。今日も、国語科にとどまらず、他教科等においても、生き生きと話したり、しっかりと聞いたりする子ども達の様子が随所に見られました。授業中の発表や対話活動だけではなく、活動の説明や紹介、活動劇、ポスターセッション等、いろいろな方法で「話すこと・聞くことの力」を活用して、身に付けた力が生かされていました。



《2年生》生活科「2年生、あそびワールド」で、みんなによく伝えるように遊びの紹介や説明をしたよ。



《3年生》総合「お茶のひみつ」で、学んだことを活動劇で元気に表現したよ。おうちの人に見てもらったよ。



《5年生》総合「米づくりに挑戦〜ヒデコちゃん日記」で、学んだことを生かしてクイズ大会をしたよ。



《6年生》「ポスターセッション」で、小グループでたくさん話したよ。ポスターがあると話しやすいし聞きやすいね。

2 掲示物・展示物の充実

校内をまわりながら掲示物や展示物の充実ぶりに目がとまりました。子ども達の学習活動の足跡を残したり、大切な学習内容について子どもにとらえさせたりするために、先生方のきめ細かな配慮や工夫が見られました。また、板書もそれぞれの先生方で、学習内容に応じて工夫されていて、子どもの学びを支え、促進する「学習環境」が充実していました。



子ども達の「作品カード」には、一人ずつ赤ペンで先生から愛情のこもったコメントが添えられていました。



作品には、交流で生まれた級友からの温かな感想や気づき、作品のよさなどを書いた付箋紙が、たくさん貼られていました。



読書指導の一環で「おすすめの本の木」が掲示してありました。これからも一人ひとりがそれぞれの思いで友達におすすめする本の花をたくさん咲かせることでしょう。



嬉野はお茶所。3年生が総合で学んだ「いろいろなお茶の種類」の実物入りの掲示です。思わず見たく、触れたいくなります。



佐賀新聞に掲載された「みんなの夢」に対する一般の方からのお手紙です。先生のコメントも入り、感動するタイムリーな掲示物です。



「世界で一冊だけの本づくり」を通して、楽しく「書くこと」を強化した実践の展示物です。

3 地域や保護者と一体となった取組

はじめは、学校全体で地域と一体となった「うれしの学習発表会」が計画されていましたが、インフルエンザの影響で各学級での学習発表や授業となりました。それでも、それぞれの教室では、地域や保護者との一体感を感じる場面が見られました。嬉野小学校の総合的な学習（うれしの学習）の大切な学習内容である「地域」を学んだ子ども達の姿はとても輝いて見えました。



1年生の生活科「リースをつくろう」では、親子で夢中になって共同制作。親子で力を合わせてきれいなリースが出来上がっていました。



地域の人に見てもらおうという相手意識、目的意識をもつことで、意欲が高まり継続します。

4 その他

保護者や地域の方々の参観が多く、活気のある教育の日でした。「参観アンケート」も実施されていて、学校の様子を見てもらい、理解していただいたり、感想や意見を学校づくりに生かしたりすることはとても大切なことだと思います。また、どの学級も学業指導がよくなされていて、子ども達の日々の学びを支える土台が形成されていると思いました。



嬉野小では、「ふりかえり」を重視して実践されています。3年生では、総合「お茶のひみつ」の劇による学習発表の後も、しっかりと時間を確保して、学級全体でふりかえりをされていました。



TTでの算数の授業。きめ細かな指導の充実に向けてのご指導ぶり。



学級閉鎖中の学級。机上に引き出しを出しての一斉整理整頓。持ち帰りの指導と合わせて、日頃の学業指導がうかがえます。